

香川県での生成AI活用の取組

職員開発システム「CatBot Powered by GPT」



R7.3

香川県政策部デジタル戦略総室情報システム課
課長 北村 卓司

職員による情報システム開発



経緯

- 平成17年度に策定した「情報システム最適化計画」における汎用コンピュータの廃止の方針を受け、汎用コンピュータで稼働する大規模システムは外部委託に移行する一方で、小規模システムは職員開発によるExcel VBAシステムに移行
- 平成18年度に、総務事務改革を推進するため、WEB系の総務事務システムの職員開発に着手。併せて、Excel VBAシステムを順次、WEBシステムに移行

現状の体制等

- 人員体制： 3名
- 運用システム：
 - Web系 43システム（総務事務システム、人事管理システム、電子職員録など）
 - VBA系 6システム（恩給システム、児童扶養手当システムなど）
- ※ 一部システムを他団体に有償で提供（電子職員録システム、eラーニングシステム、施設予約システムなど）
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/joho/sk-system/index.html>

生成AIシステム「CatBot」の職員開発



経緯

- R5.6～ 関係課の担当職員で構成する「生成AI活用検討ワーキンググループ」を設置し、生成AI利用ガイドラインや利用手引きを作成
- R5.6～ 有志職員(23名)の「生成AI活用検討チーム」を編成し、利用方策の検証を実施
- R5.9 対話型での文書生成機能や庁内QA機能(RAG)を持つ「CatBot」を職員開発し、庁内で生成AIの利用を開始

職員開発で整備するメリット

- 費用が安い。(主な費用はAzure OpenAIのChatGPTのAPI利用料のみ)
- 職員が簡単に使える。(庁内IDでシングルサインオンできる。)
- セキュリティ確保が容易である。(認証情報、QA用ナレッジ情報、ログ等は庁内側に保持)
- 独自機能を柔軟に追加できる。(庁内QA機能(RAG)、長文専用機能など)

CatBot の外観〔全体〕





Powered by GPT

今日

役割 あなたは、A県の自治体職員です。 # 結果 住民を対象としたメールマ...

このアート作品の画像を見て、作品の背景やアーティストの意図についての解説を書いて...

この料理の画像を見て、レシピと調理手順を詳しく説明してください。

この観光地の画像を基に、観光ガイドブックに掲載するような紹介文を書いてください。

以下の情報を元にビジネスメールを作成してください：宛先: 香川太郎 目的: ...

生成AIの行政での利活用の可能性について、太郎君と花子さんが対話形式で語る場面を...

以下の情報を元にビジネスメールを作成してください：宛先: 香川太郎 目的: ...

生成AIとは何か説明してください。

2024年9月

生成AIとは何か説明してください。

以下の条件に従い、以下の用語をわかりやすく説明してください。 # 条件 ・あ

1

2

»

機能切替

文章生成機能 (高性能モード)

インターネット検索

応答モード: ☐ 厳格 ☒ バランス ☐ 創造的

ご利用にあたって

- 生成AI利用ガイドラインを遵守してください。
- あいまいな質問には、あいまいな回答しかできません。できるだけ具体的に質問してください。
- 指示文として入力できる最大文字数は10,000字です。
- 指示文に最大10個の画像をつけることができます（対話を繰り返す場合、対話全体で最大10個）
- 画像の認識はできますが、返答は文字情報のみとなります（画像を生成させることはできません）。
- 庁内に関する質問の場合は、「庁内QA機能」に機能を切り替えてください。

テンプレート

プロンプトMaker

説明して

アイデアを出して

文案を考えて

要約・校正・批評して

画像認識機能を使う

その他

関連リンク

議会答弁案作成支援システム

システムを開く

CatBotの活用事例を共有しよう

知恵の輪

さっそく共有する

テンプレ

画像

にやんでも聞いてください... (キーワードの羅列ではなく、文章で具体的に入力してください。)



Shift+Enterでも送信可

不具合等の報告先 >> 情報システム課 開発Gr 内線 2234、2236

Copyright (c) 2023- Kagawa prefecture. All right reserved.

3

CatBot の外観〔対話画面 文章生成機能〕



CatBot
Powered by GPT

検索キーワードを入力

今日

LLMとはどのようなものなのか教えてください。

役割 あなたは、A県の自治体職員です。 # 結果 住民を対象としたメールマ...

このアート作品の画像を見て、作品の背景やアーティストの意図についての解説を書いて...

この料理の画像を見て、レシピと調理手順を詳しく説明してください。

この観光地の画像を基に、観光ガイドブックに掲載するような紹介文を書いてください。

以下の情報を元にビジネスメールを作成してください：宛先: 香川太郎 目的: ...

生成AIの行政での利活用の可能性について、太郎君と花子さんが対話形式で語る場面を...

以下の情報を元にビジネスメールを作成してください：宛先: 香川太郎 目的: ...

生成AIとは何か説明してください。

テンプレ
画像

機能切替 文章生成機能 (高性能モード) インターネット検索

応答モード: ● バランス

トークン数: 21

LLMとはどのようなものなのか教えてください。

トークン数: 428

この回答は役に立ちましたか? フィードバックに協力する

LLMとは「Large Language Model」の略で、大規模なデータセットを基にトレーニングされた自然言語処理（NLP）モデルのことを指します。これらのモデルは、テキストデータのパターンを学習し、さまざまな言語タスクを実行する能力を持っています。具体的には、文章の生成、翻訳、要約、質問応答、感情分析など、多岐にわたるタスクに応用されます。

LLMの代表的な例として、OpenAIのGPT-3（Generative Pre-trained Transformer 3）があります。GPT-3は1750億以上のパラメータを持つ巨大なモデルで、非常に高い精度で自然な文章を生成することができます。

LLMは以下のような特長を持っています：

1. 大量のデータでトレーニング：インターネット上の膨大なテキストデータを使用してトレーニングされており、多様な文脈や知識を学習しています。

2. 高い汎用性：特定のタスクに特化せず、広範な自然言語処理タスクに対応可能です。

3. 自然な言語生成：人間が書いたような自然な文章を生成する能力があります。

4. 自己教師あり学習：ラベル付きデータを必要とせず、大量のテキストデータから自己教師ありで学習します。

1 2 >

不具合等の報告先 情報システム課 開発 Gr 内線 2234、2236

Copyright (c) 2023- Kagawa prefecture. All right reserve

CatBot の外観〔対話画面 庁内QA機能〕



機能切替

庁内QA機能(実証実験中)

デジタル

香川 太郎

ログアウト

New

ナレッジ検索のみ

回答も生成させる

トークン数: 10394

パソコンにコーヒーをこぼして動かなくなりました。

トークン数: 279

この回答は役に立ちましたか? フィードバックに協力する

まず、パソコンにコーヒーをこぼしてしまった場合の対応についてお知らせします。

1. 直ちにパソコンの電源を切ってください。
2. OAサポートに連絡してください。
3. 業務用パソコンに飲み物をこぼして故障させた場合は、「リース物件事故報告書」及び「一般業務用パソコン等障害等報告書（第7号様式）」を情報システム課に提出する必要があります。報告書様式は次のURLに掲載されています。
 - URL: [事故報告書様式](#)
4. また、上記報告書とともに、会計規則第274条に基づく報告を会計課等に提出する必要があります。詳細は【各課のページ】 - 【出納関係通知集】 - 【物品】 - 【事故発生報告書提出の徹底について】をご覧ください。

お手数ですが、早急に対応を行ってください。
参照した資料[1]: ヘルプデスクOA情報のページ

1. ヘルプデスクOA情報のページ

- パソコンにお茶、コーヒー、水などの飲み物をこぼしてしまいました。

・パソコンの電源を切って、直ちにOAサポートに連絡してください。
・なお、業務用パソコンに飲み物をこぼした等により故障させた場合は、「リース物件事故報告書」及び「一般業務用パソコン等障害等報告書（第7号様式）」を情報システム課に提出してください。報告書様式は次のURLに掲載しています。

URL: <http://fs1.intra.pref...>

2. OAサポートのページ

- パソコンを起動したが、Uドライブが表示されません。どのような対応をすればよいですか。

パソコンの再起動を2〜3回行ってください。
なお、再起動後もUドライブが表示されない場合は、情報システム課の基盤グループにお問い合わせください。

3. OAサポートのページ

パソコンにコーヒーをこぼして動かなくなりました。

Shift+Enter
でも送信可

不具合等の報告先 >> 情報システム課 開発 G r 内線 2 2 3 4、2 2 3 6

Copyright (c) 2023- Kagawa prefecture. All right reserved.

CatBot の外観〔長文要約画面 長文専用機能〕



閉じる

削除する

URLコピー

原文 (📎ファイル読込)

コピー

153,161文字 (116,586トークン)

0「自由なシステム」の提案書原文1

デジタル庁「国・地方ネットワークの将来像及び実現シナリオに関する検討会」
https://www.digital.go.jp/councils/local-governments-network/
構成員提出資料-登提出資料(2024/04/23)その2
「自由なシステム」の提案書原文
-行政機関・行政職員における
基本的・基礎的ITリテラシーを修得するために不可欠な
創造的なコンピュータやネットワークの試行錯誤環境の
復活の必要性和、日本の明るい未来の実現-
Ver1.00
2024/05/31
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
サイバー技術研究室
登
のぼり
大遊
だいゆう

0「自由なシステム」の提案書原文2

「自由なシステム」の提案書原文
著者は、自治体ヒアリング結果(2024年4月23日提出の構成員提出資料その2「行政デジタル人材育成見聞録第一,地方自治体編」参照)に基づく「自由なシステム」の具体的な提案を、デジタル庁「国・地方ネットワークの将来像及び実現シナリオに関する検討会」で述べた。
その内容は、同会議での議論・修正を経て、同会議の成果である「報告書」の「Ⅲ」の「(6)行政デジタル人材育成・発掘・技術創成・国際競争力確立のための環境整備」に記載されている。
いずれの資料も、以下のURLからPDFでダウンロードが可能である。

生成結果1

生成指示+

生成の条件:長めの要約 (詳細な概要)

要約

コピー

1,693文字 (1,400トークン)

「自由なシステム」の提案書は、日本の行政機関におけるデジタル人材育成の重要性とその実現に向けた具体的な方策を示すものである。提案書は、デジタル庁の検討会での議論を基に、行政職員が基本的なITリテラシーを身につけるための環境整備の必要性を強調している。特に、創造的な試行錯誤ができる環境を復活させることが、デジタル立国の実現に向けた鍵であると述べている。

背景として、日本はデジタル技術の発展において「デジタル敗戦」を克服し、国際競争力を高める必要がある。これには、行政職員が自律的にデジタル技術に興味を持ち、基礎的なデジタルリテラシーを身につけることが求められる。優れた人材は特定の地域や組織に偏在せず、国全体で育成されるべきであり、そのためには国と地方が連携して土壌を整える必要がある。

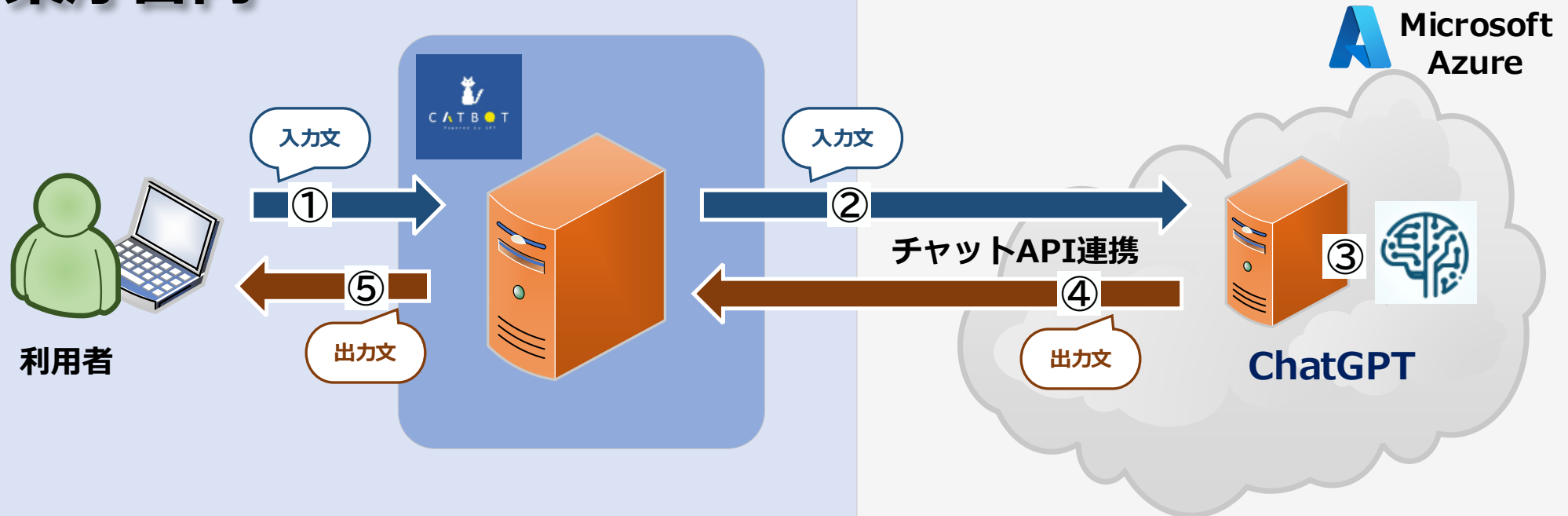
提案書では、具体的な課題として、基礎的なリテラシーの修得機会の不足、システムの本質的理解の欠如、デジタル変化に対応できる環境や人事制度の不備が挙げられている。これらの課題を解決するために、「自由なシステム」という方策を提案している。この方策は、行政職員が自作システムを試作したり、新しい企画に基づいてシステムを開発したりする自由な環境を提供するものである。

「自由なシステム」は、官民の技術者や研究者が自律的に業務革新を試行できる場を提供し、創造的な生態系を形成することを目指している。また、国と地方の複数の行政機関間での連携や、民間との交流を通じて、地域の若手人材を育成すること重要性である。これによ

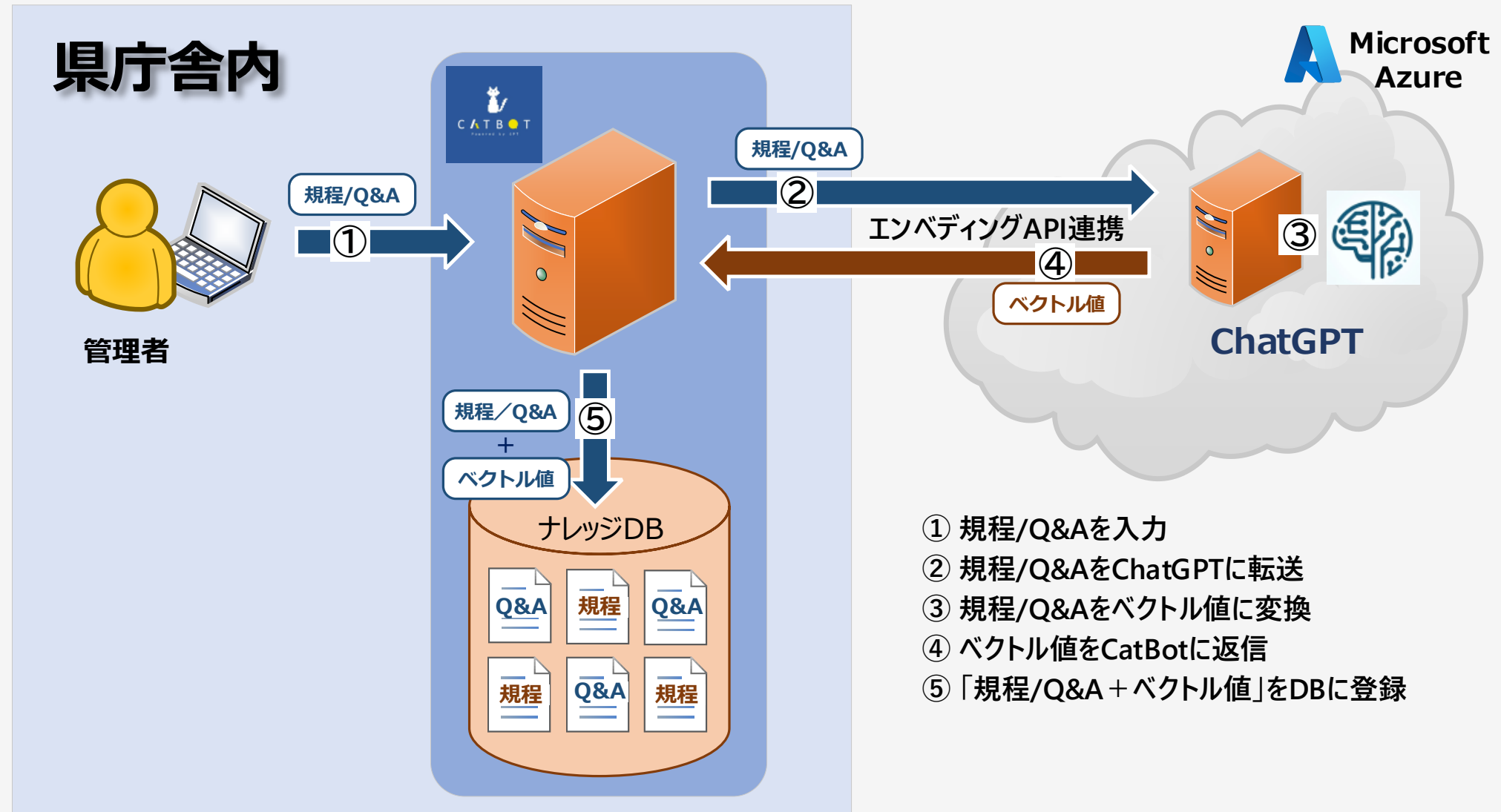
CatBot の基本的な仕組み〔文章生成機能〕



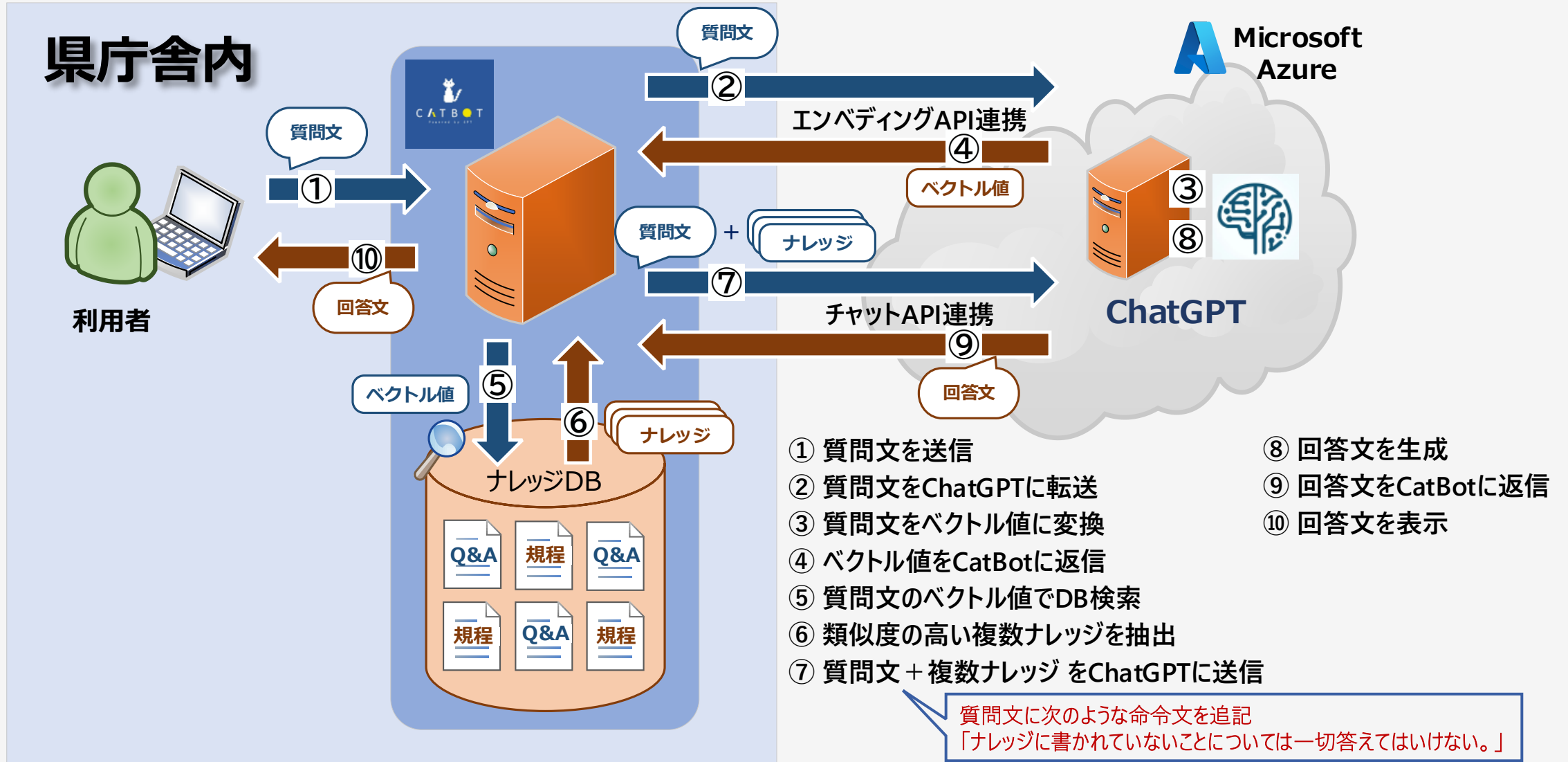
県庁舎内



CatBot の基本的な仕組み〔庁内QA機能 ナレッジ登録〕



CatBot の基本的な仕組み〔庁内QA機能 質問回答〕



庁内QA機能の管理画面



チャット ナレッジ デジタル 情報システム課 出典を絞り込む... 分類を絞り込む... + ナレッジの追加 一括処理 ファイル取込 共通関連ファイル 並び替え Excel出力 動作確認 URLコピー ☐ 無効化分のみ 全 278件 前の150件 1/2 次の150件 北村 卓司 ログアウト									
No.	☐	処理選択	業務分類	出典名	エンベディング 対象及び状態	タイトル	文字数	所属/管理番号	関連 ファイル
2196	☐		グループウェア	ヘルプデスクOA情報のページ	タイトル+本文 処理済	メールで受信できる最大容量はどのくらいですか。	19	情報システム課	
2194	☐		システム・ネットワーク	電子掲示板	タイトル+本文 処理済	Kドライブ等の容量を増やすことについて	337	情報システム課	
2193	☐		グループウェア	OAサポートのページ	タイトル+本文 処理済	使用する業務用パソコンが変更になる場合のチャットアプリの操作手順書	601	情報システム課	
2192	☐		インターネット	運用通知等	タイトル+本文 処理済	庁内PCのインターネット閲覧用ブラウザの初期設定をシークレットモードに変更しました	759	情報システム課	
2143	☐		情報システム等 審査委員会	香川県最高情報統括責任者 設置要綱	タイトル+本文 処理済	香川県最高情報統括責任者（CIO:Chief Information Officer）設置要綱	272	情報システム課	
2140	☐		行政情報ネット ワーク	情報システム課のページ	タイトル+本文 未処理	情報システム課のイントラネットサイトはどこにありますか	106	情報システム課	
2087	☐		システム・ネットワーク	情報システム課FAQ	タイトル+本文 処理済	電子職員録で個人のページを公開する方法	90	情報システム課	
2084	☐		インターネット	インターネット閲覧等説明 書	タイトル+本文 処理済	大容量の電子ファイルをやりとりする方法を教えてください。	139	情報システム課	
2081	☐		パソコン	運用通知等	タイトルのみ 処理済	一般業務用パソコンを海外で利用する場合の手続きについて教えてください。	393	情報システム課	
2080	☐		システム・ネットワーク	情報システム課のページ	タイトル+本文 処理済	香川新世紀高速情報ネットワーク利用申込書は、どこで確認できますか。	148	情報システム課	
2079	☐		システム・ネットワーク	情報システム課のページ	タイトル+本文 処理済	香川新世紀高速情報ネットワークの規約はどこにありますか。	149	情報システム課	
2070	☐		情報セキュリティ	情報システム課のページ	タイトル+本文 処理済	香川県情報セキュリティポリシーはどこに掲載されていますか？	122	情報システム課	
2069	☐		インターネット	情報システム課FAQ	タイトル+本文 処理済	インターネット閲覧用ブラウザでインターネットを開こうとすると、次のようなエラー画面が表示されます。どのように対応すればよいですか。「アプリケーションを起動できませんでした。」「Storeへの接続で問題が発生しました。」	138	情報システム課	
2067	☐		システム・ネットワーク	情報システム課FAQ	タイトル+本文 処理済	庁内リサーチ（庁内用電子アンケートシステム）の使い方を教えてください。	66	情報システム課	

庁内QA機能の管理画面（ナレッジ編集画面）



ナレッジ編集

内容編集

キャンセル

登録者 k65535
更新者 k49257

登録日時 2023/08/17 9:52:16
更新日時 2023/09/03 21:25:46

embedding	処理状態	処理日時	トークン数
	処理済	2024/01/12 9:13:56	333

所属 情報システム課

業務分類 パソコン

出典名 ヘルプデスクOA情報のページ

管理番号

ナレッジ区分 QA

ステータス 有効

タイトル 類似度判断対象○

パソコンにお茶、コーヒー、水などの飲み物をこぼしてしまいました。

本文 (325文字) 類似度判断対象○

・パソコンの電源を切って、直ちにOAサポートに連絡してください。

・なお、業務用パソコンに飲み物をこぼした等により故障させた場合は、「リース物件事故報告書」及び「一般業務用パソコン等障害等報告書（第7号様式）」を情報システム課に提出してください。報告書様式は次のURLに掲載しています。

URL : <http://fs1.intra.pref.kagawa.jp/joho/oaroom/web/jikohou.html>

・また、上記報告書とともに、別途、会計規則第274条に基づく報告を会計課等に提出する必要があります。詳細は [各課のページ] - [出納関係通知集] - [物品] - [事故発生報告書提出の徹底について] をご覧ください。

リース物件事故報告書.xlsx (72KB)

一般業務用パソコン等障害等報告書（第2号様式）_R041205改正.docx (20KB)

庁内QA機能の管理画面（動作確認画面）



🔗 動作確認

検証用の質問文 デジタル ▼

検証項目: ☒ 抽出ナレッジ一覧 ☒ 最終プロンプト ☐ 回答（トークン消費）

PCにジュースをかけてしまった。

🐾 テスト実行

✕ キャンセル

No.	出典名	管理番号	ID	ナレッジID	類似度	トークン ▲
1	ヘルプデスクQA情報のページ		918	パソコンにお茶、コーヒー、水などの飲み物をこぼしてしまいました。	0.839180647874797	333
2	運用通知等		1191	パソコン等を修理する場合	0.826928016759492	376
3	業務用パソコン等管理要綱		1092	業務用パソコンに障害が発生した際に、必要な手続きを教えてください。	0.81796004684038	268
4	情報システム課FAQ		98	業務用パソコンのバッテリーの充電が80%で止まってしまいます。どうすればいいですか。	0.816912953639671	128
5	業務用パソコンのスペック		1969	業務用パソコンの仕様	0.815897299057481	903
6	運用通知等		1560	サポート切れOSを搭載したWindowsパソコン等の使用について、気を付けるべきことを教えてください。	0.814825880532507	487
7	運用通知等		1556	パソコンでウイルスが検出された（ウイルス感染が疑われる）とき	0.812984611862312	595
8	情報システム課FAQ		1970	「総務なび」が使えない職員がパソコンの持ち出し（モバイルワーク）をしようとする際には、どのような手続きが必要ですか。	0.812286895743956	251
9	業務用パソコン等管理要綱		1086	業務用パソコンの利用者が、遵守すべきことを教えてください。	0.811916968364014	495
10	運用通知等		1557	パソコン内に保存されたデータのバックアップについて、気を付けるべきことを教えてください。	0.810880041454522	156
11	業務用パソコン等管理要綱		1005	業務用パソコンにウイルスが検出された（ウイルス感染が疑われる）とき	0.810000000000000	220

庁内QA機能のジャンル内訳



ジャンル	参照するナレッジ
デジタル	セキュリティポリシー、パソコン管理要領、情報システム調達指針、パソコン運用Q&A、セキュリティQ&A、グループウェアQ&A など
年末調整	年末調整Q&A
旅費事務	旅費条例、旅費事務処理要領、旅費制度手引、旅費Q&A、旅費システムマニュアル など
会計事務	会計規則、出納事務手引、会計事務Q&A、財務会計システムFAQ、電子契約Q&A など
情報公開・ 個人情報保護	情報公開ハンドブック、個人情報保護Q&A
健康診断	健康診断Q&A

庁内ナレッジ登録のコツ

- 重複した内容のナレッジは登録しない。
- 誰も質問しないようなナレッジは登録しない。
- 図や表は扱えないので、代わりに文章(テキスト)で表現する。
- 「詳しくは、No.3のとおり」など、他の登録ナレッジの内容に依存するような書き方はしない。
- 他の条項を引用するような内容の場合は、当該引用元の条項も含めて登録する。
- 「ただし、～の場合はこの限りではない」といった婉曲的(遠まわし)な表現は避ける。
(「○○の場合は●●する」のように直接的・明示的に表現する。)
- 質問文の文末は、それが質問であることがはっきりと分かるように丁寧に書く。
例) 「可能か」→「可能ですか」 「よいか」→「よいですか」 「など」で終わらない
- ナレッジは、通常、「タイトル(質問文)」と「本文(回答文)」のセットでエンベディング(ベクトル値に変換)するが、「本文」を含めることでベクトル値がぼやけてしまう場合は、「タイトル」だけを対象にエンベディングする。

生成AIの活用推進の取組



● 研修会等の実施

- 有識者を講師とする研修会の実施（松尾教授ほか）
- 職員を講師とする勉強会（CatBotの操作方法等）の実施 など

● 活用事例等の紹介

- 庁内の掲示版やバナーで、他団体での事例やCatBotの新機能を紹介
- 活用方策等を記載した庁内レポート「CatBotでやってみた」の発行

CatBotでやってみた

皆さんにCatBotを活用していただくために発刊しました。

- ★ CatBotでやってみた Vol.1 ～ CatBotシステムの使い方～
- ★ CatBotでやってみた Vol.2 ～ 利用ガイドラインの主なポイント～
- ★ CatBotでやってみた Vol.3 ～ CatBotの利用の際に役に立つTips～
- ★ CatBotでやってみた Vol.4 ～ プロンプトのお話～
- ★ CatBotでやってみた Vol.5 ～ プロンプトMakerほか～
- ★ CatBotでやってみた Vol.6 ～ 知識を与えて作業させる～
- ★ CatBotでやってみた Vol.7 ～ 長文要約機能を実装！～
- ★ CatBotでやってみた Vol.8 ～ インターネット検索機能を実装！～
- ★ CatBotでやってみた Vol.9 ～ 応答モードを実装！～
- ★ CatBotでやってみた Vol.10 ～ 回答再生成機能を実装！～
- ★ CatBotでやってみた Vol.11 ～ 電卓や時計を作ってみた！～
- ★ CatBotでやってみた Vol.12 ～ SNSの炎上リスクチェック～
- ★ CatBotでやってみた Vol.13 ～ 文章を膨らませてもらおう～
- ★ CatBotでやってみた Vol.14 ～ いろんな立場から意見してもらおう～
- ★ CatBotでやってみた Vol.15 ～ アンケートを分析してもらおう～ NEW！

CatBotでやってみた Vol.1

- ・ 香川県庁でも、生成 AI(ChatGPT)の業務利用がR5.9.8からスタート！まだ使ったことのない方は、まずは一度使ってみましょう！

- ・ まず、行政情報ネットワークのトップページの右上にある「Cat



CatBotでやってみた Vol.8

- 県では、ChatGPTは、職員開発のCatBotシステム経由で、どんどん新しい機能が追加されているCatBotですが、今度は**インターネット検索機能**が実装されました！

CatBot がエンジンとして使っている ChatGPT は 2021 年 12 月までのもので、これまでは最新の出来事には対応できませんでした。最新の情報も参照して答えることができるようになります。この機能を使うには、CatBot の画面上部の機能切替メニューの「インターネット検索」にチェックを入れます。

- ・ ChatGPT の知識は 2021 年 12 月までのものです。最新の情報が必要な場合は、インターネットで調べた情報も参考にしてください。消費トークンが多くなるため、必要に応じてユーザーごとの月間消費トークンは次のメニューで設定できます。

CatBotでやってみた Vol.15

日々の業務の中でアンケートを取る機会は結構あるかと思いますが、その際のアンケート結果の分析作業が面倒だと感じることありませんか？

そんなときにも CatBot！

今回は、職員研修を実施した際の**アンケート結果を分析してもらいました。**

まず、意見の整理を行ってもらいます。

CatBot に次のようお願いします。

以下の文章は、業務オンライン化の研修のアンケートの自由意見欄から集めた様々な意見です。**これらの意見を整理し**類似回答数の多さや影響の大きいものから順に10項目選定してください。

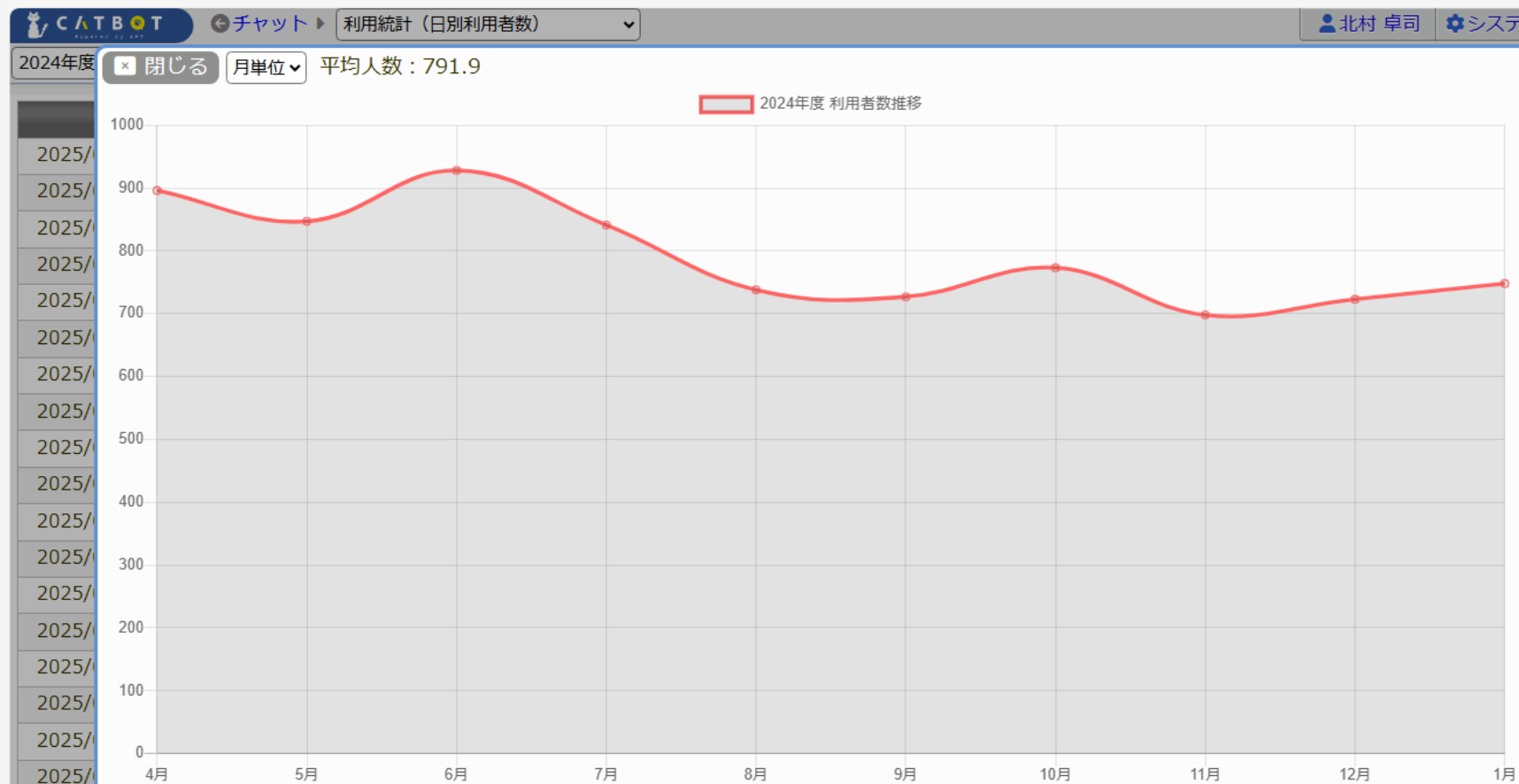
この指示を含めることが大事！

CatBotの活用状況



● 利用したことのある職員 2,635名 / 4,068名 (65%)

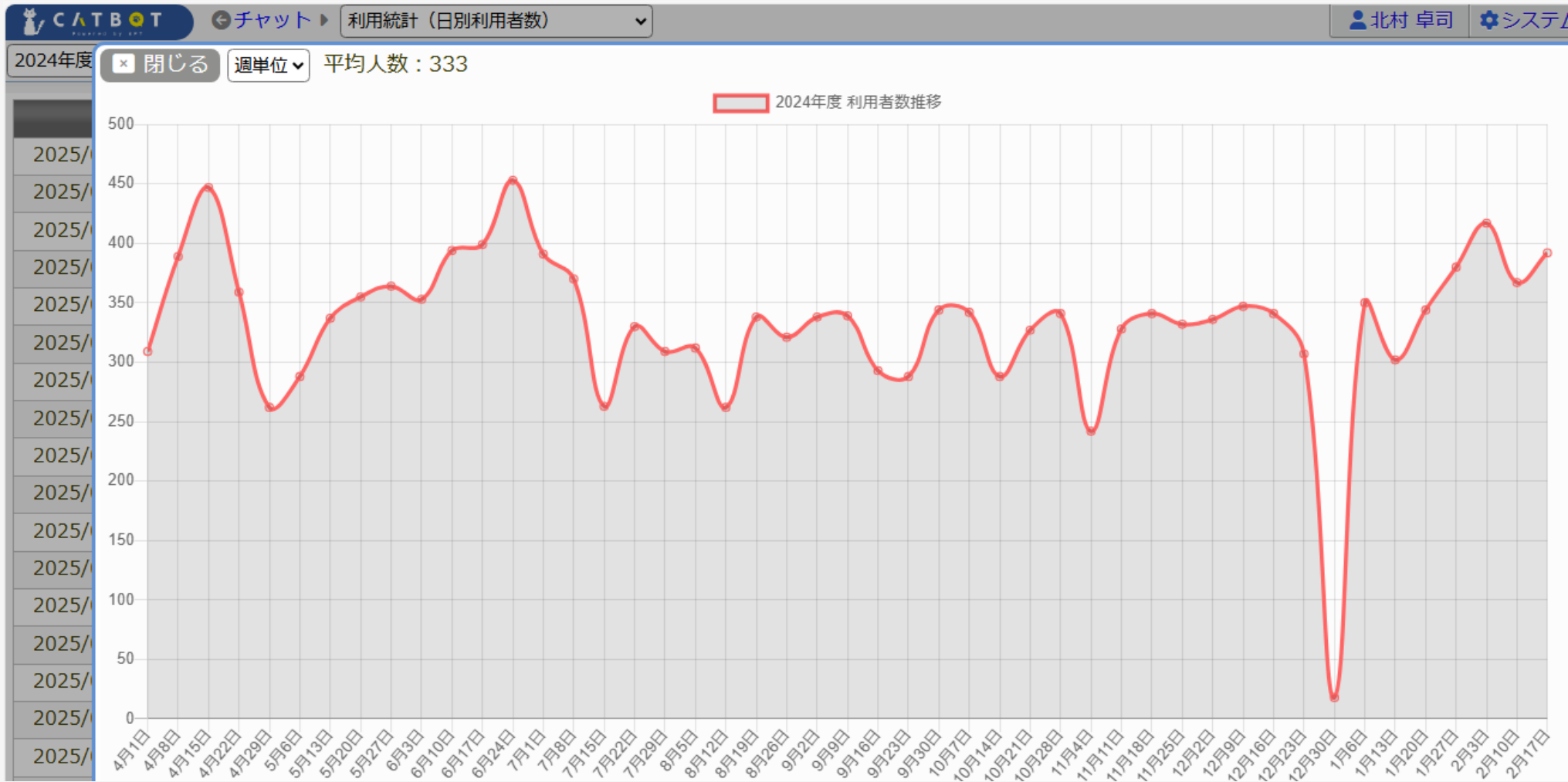
● 利用者数の推移【月単位】



CatBotの活用状況



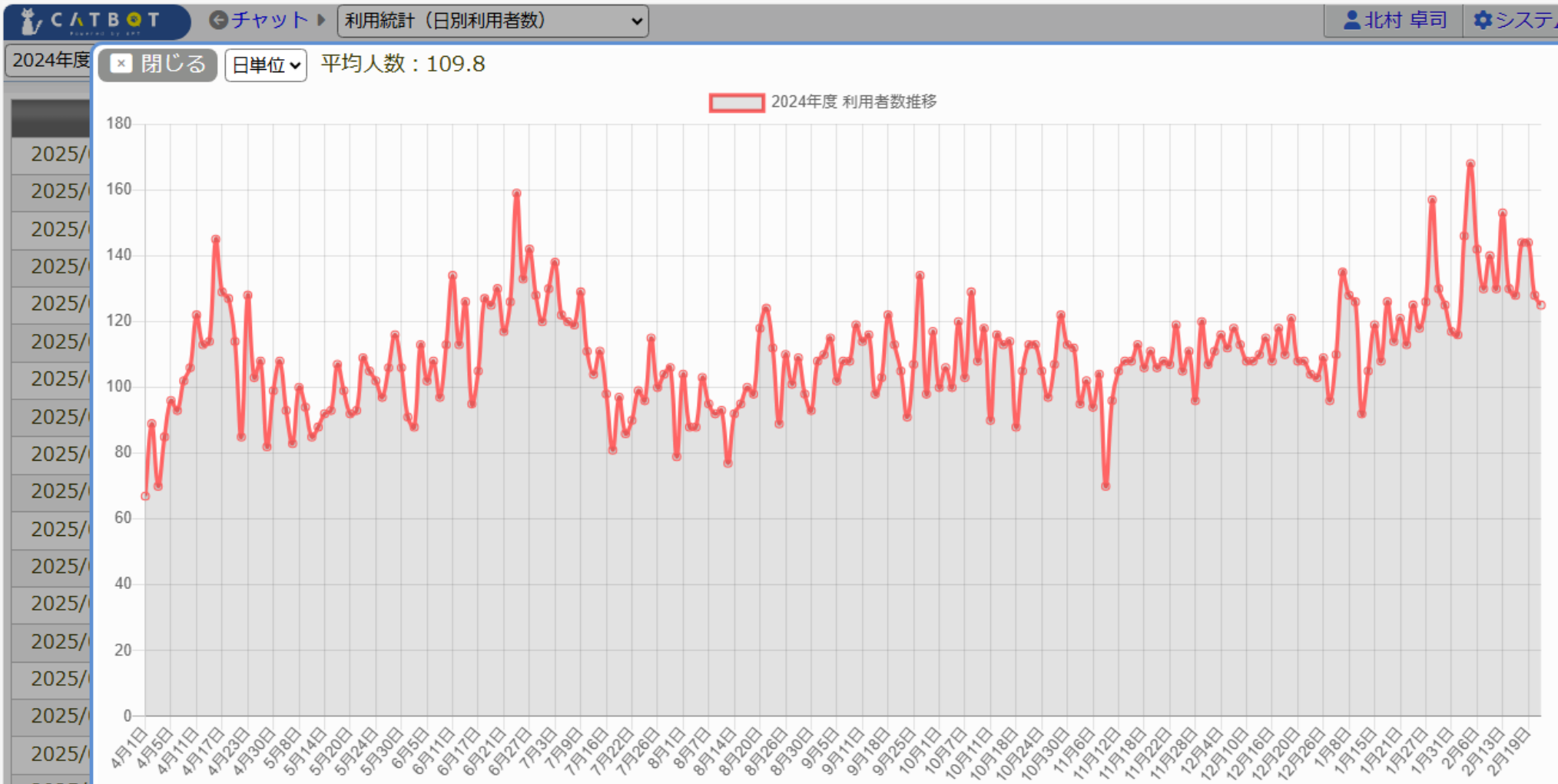
● 利用者数の推移【週単位】



CatBotの活用状況



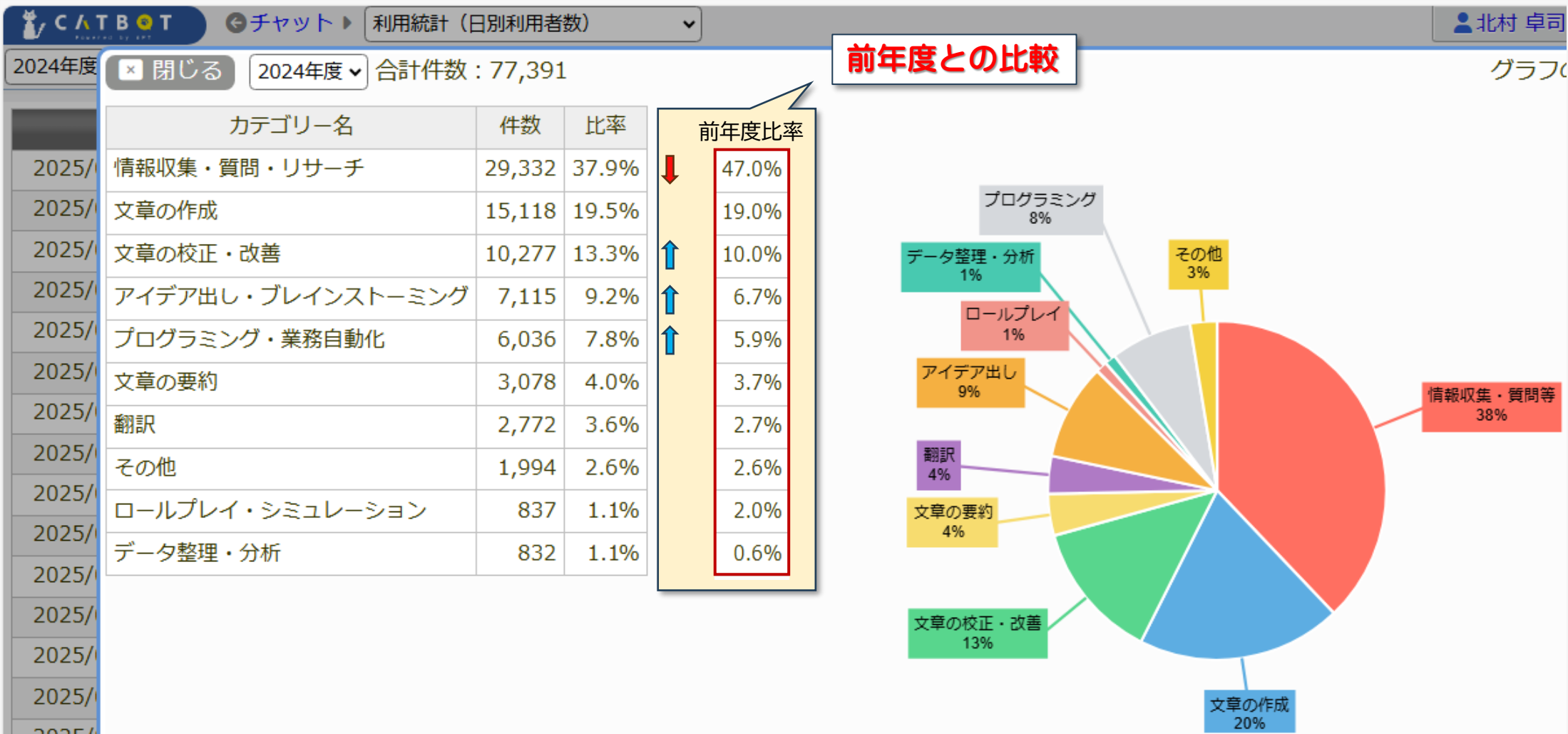
● 利用者数の推移【日単位】



CatBotの活用状況



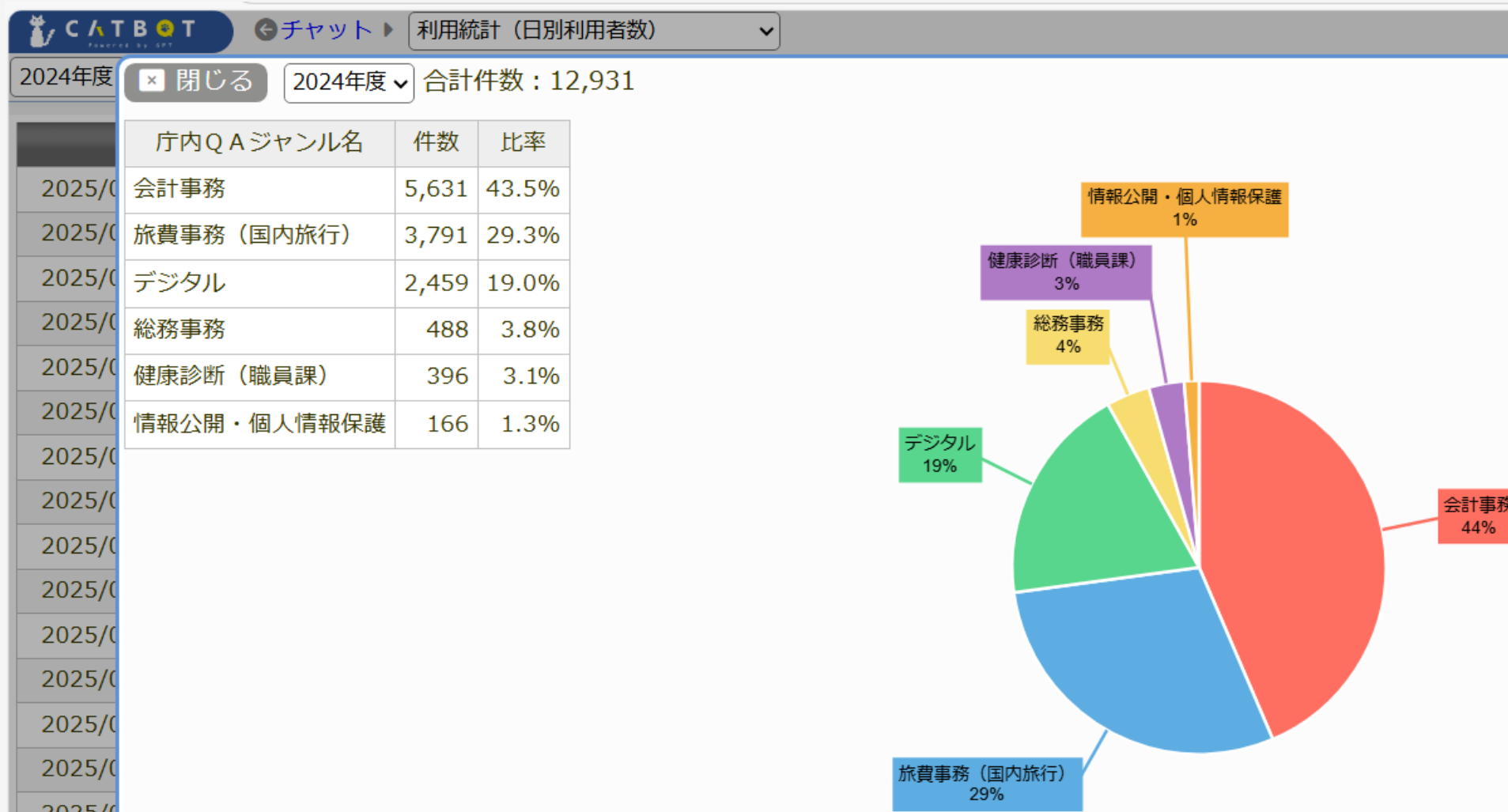
文書生成機能の利用用途



CatBotの活用状況



● 庁内QA機能の利用ジャンル



課題だと感じていること

● CatBotの文章生成機能に関して

- 庁内で、なかなか活用が進んでいない。
- 適切な内容のプロンプトを書くことは、職員にとって結構ハードルが高いのではないか。
職員に書かせるのではなく、自動的に入力される仕組み(RPA、システム連携等)が必要なのではないか。

● CatBotの庁内QA機能(RAG)に関して

- ナレッジは、ファイル単位で登録すると回答精度が落ちるので、QA単位(規程の場合は条項等の単位に細分化して登録させる仕組みとしているが、それでも回答精度を上げるには限界がある。
- 登録するQAナレッジは、業務分野全体を網羅し、かつ重複のない内容とする必要がある。
既存のQAは特別な事例のものが多いが、ごく当たり前のQAナレッジも一通り用意する。
- RAGは、「DBに登録されたQAナレッジの中から質問内容と類似度の高いQAを抽出」⇒「当該QAのみを生成AIに参照させ回答を生成」という仕組みなので、的確な回答生成には限界がある。このため、回答文までは生成させず、類似度の高いQAナレッジの一覧を表示させるに止める方が実用的かもしれない。

課題だと感じていること



● 自治体の全国的な状況などに関して

- 外部サービスの利用には数千万円単位の費用が必要となるが、効果が未知数(ルーティンワークでなく創造的な業務に使う場合が多く、効果測定も難しい。)であり、導入に苦慮している団体が多いのではないか。
- RAG技術を使った業務QAや議会答弁作成などの実証(PoC)が各地で行われているようであるが、そこで得られた成果やノウハウが自治体間で共有されていないのではないか。
- 情報セキュリティ上の措置(機密性1の情報に限定、利用の都度許可が必要など)が生成AIの利用促進を妨げているのではないか。
- 一方、MS365やGoogle WorkspaceへのAI支援機能の組み込み、Google検索の結果にAIによる概要が表示される機能など、利用者が容易に(無意識に)生成AIが利用できてしまうサービスが増えてきており、情報セキュリティ上、利用可能な生成AIを制限することは困難となってきている。
- 今後、生成AIを使える人と使えない人との業務遂行能力の格差が広がっていくのではないか。
単に生成AIを導入すればいいのではなく、活用スキルを持つ職員を増やさないといけない。
人材育成に積極的に取り組む必要があるのではないか。

生成AI利用ガイドラインの概要



● 基本的な留意事項

- 利用者は、業務の効率化や行政サービスの向上を図るため、積極的に生成AIを活用する。
一方、所属長等は、生成AIを活用しやすい環境醸成に努める。
- 生成AIに過度に依存しない。生成物を業務資料として利用する場合は、自らが責任を持つ。

● 利用する際の注意事項

- 機密性2以上の情報は入力しない。
- 第三者の著作権等を侵害するおそれのある情報は入力しない。
- 生成物の内容を鵜呑みにせず、必ず自らの責任で内容が正しいことの裏付けを取るとともに、差別的な表現や倫理に反する表現が含まれていないことを十分に確認する。
- 生成物を利用することによって著作権等が問題になることが想定される場合(例えば、小説、脚本、論文、講演等の文章やキャッチフレーズを作成する場合)にあっては、生成物が著作権等を侵害していないかを十分に確認する。